

第2回「つながるKOTOタウンミーティング」実施状況

開催日: 令和5年9月24日

会場: 富岡区民館ホール

参加人数: 13人(内、オンライン参加3人)



【Aグループ「こどもまんなか江東区」・「健康都市江東区」】

- 予算について、児童相談所をつくるという構想もあるかと思うが、児童相談所に予算を学校、保育園、幼稚園に使っていただきたい。
- 現在、こどものための学校というよりは、先生の働き方改革のための学校というような感じがしていて、こどもに対する事業数が減らされていると思う。先生の長時間労働は、こどもや保護者に責任があるという風潮になっているが、先生方の仕事にも改善点があるのではないか。
- 学校の先生のいろんな問題、わいせつ行為や体罰が頻繁に起こっていると感じており、先生方の意識も変えていただきたい。
- 学校を拠点にして、地域の人たちの親切心やパワーによって、世代を超えた助け合いにつなげていけば良いのではないか。
- コロナ禍にパソコンが配られたが、今年から5類に移行になったということで、急にパソコンを活用するっていうことがなくなってしまった。これまでは、学校公開等もオンラインで行えたが、今年からなくなってしまった。学校を確認をしたところ、パソコンが壊れていて代替機もないからオンラインができないと回答された。
- 1・2時間目オンラインで授業に参加をして、3・4時間目に学校に行ったときに、それはオンラインで参加をした分は、出席とカウントされず、遅刻扱いになってしまう。都の教育委員会として、それは校長判断とのことだが、他区では、オンラインで参加をしても出席扱いにしてもらえるとのこと。小学生や中学生が受験になったときに、江東区の生徒たちが不利になってしまう状況にはしないほしい。
- 働く親を助けるために、様々な選択肢があっていいと思う。例えば、「働く親御さんのお子様は保育園に通わせる」というイメージが強いが、保育園以外にも、幼稚園に通園させたい、ベビーシッターを使いたい等の要望もあると思うので、働く親が選択できるような仕組みを作っていただきたい。

【グループB「クリーンで開かれた江東区政」、「つながろう、世代を超えて」】

- 世代が違うからといって、避けたりするのではなく、お互いに理解をし合う、それぞれの世代の考え方や常識とか、理解し合って協力していくことはとても大事である。その実現のために、接点を持つことを大切にしていきたい。
- ものづくり、特に木を使った工作の行事を行うことで、木に触れる機会を作ることができ、技術伝承にもつながると思う。
- 江東区の中で空いている屋上や、大学の敷地などを活用して、ガーデンにすると良い。土に触れる機会にもなるし、異なる世代がそれぞれ違う世代の方と接点を持ついい機会になると思う。
- このタウンミーティングの場では答えられないもの等に関して、「いつまでにこういうことを行って、こういう場でフィードバックをする」というのを示してもらいたい。フィードバックをすることによって、区側の事情も、区民として分かると思う。

【グループC「つくろう、まちのデザイン」、「広げよう、KOTOブランディング」】

- 水辺や、文化的な歴史、木など文化的なものがたくさんあるが、なかなか発信しきれてないのかもしれないと感じる。もったいない。
- 水辺に近い江東区だからこそ、観光だけではなく、日常的に水辺とたわむれて、遊んで、こどもが育つことで、その魅力が広がっていければ良い。
- 物を作って売るだけではなく、体験券なども、ふるさと納税の新しい形として考えてみてほしい。
- 昔からの江東区の歴史に新しく入ることに難しさを感じるので、行政によって世代を超えてつながることができるプラットフォームを作ってもらいたい。
- 起業するための座学などの取り組みは今も行われていると思うが、例えば「クリエイターにやさしいまち」や「料理人にやさしいまち」といった形で、起業する方たちを支援と良いと思う。また、知識を持っている方たちと新しい人たちをつなぐプラットフォームがあるよいのではないかな。
- ハンディキャップ等様々なバックボーンがある方たちをつなげられるような枠組みがあると、より一層地域コミュニティが活性化されるのではないかな。バラバラなものを逆に特色として生かせるような、また昔のものと新しいものが融合できるような形のプラットフォームができると、まちの良さが広がるのではないかな。

【オンライン参加グループの意見】

- 子育てに関して、他の区ではこどもが生まれて、月齢別及び地区別のコミュニティを区で作ってくれた。同じ月齢同士で悩みを共有しやすかったので、同様の取り組みを江東区でもやっていただきたい。
- 障害児を育てる上で疑問を感じたのが、障害の部門だけが防災センターに行かされる。子育ての部署と距離があるので、できれば近くにあると障害児の相談がしやすい。また、豊洲にも障害児の相談ができる窓口が欲しい。
- 目的地まで複数の交通機関を予約及び支払いとかまとめてできる仕組みであるMaaSをぜひ江東区でも取り入れて、成功させた上でそれをロールモデルにして、全国に展開できないかな。
- 民間からの人材登用はすばらしいことだと思う。兼業などでの形で区政に関わる仕組みが欲しい。もし可能になれば、ぜひ参加したい。